

---

# 新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

---

**対象期間 11月9日～11月15日**

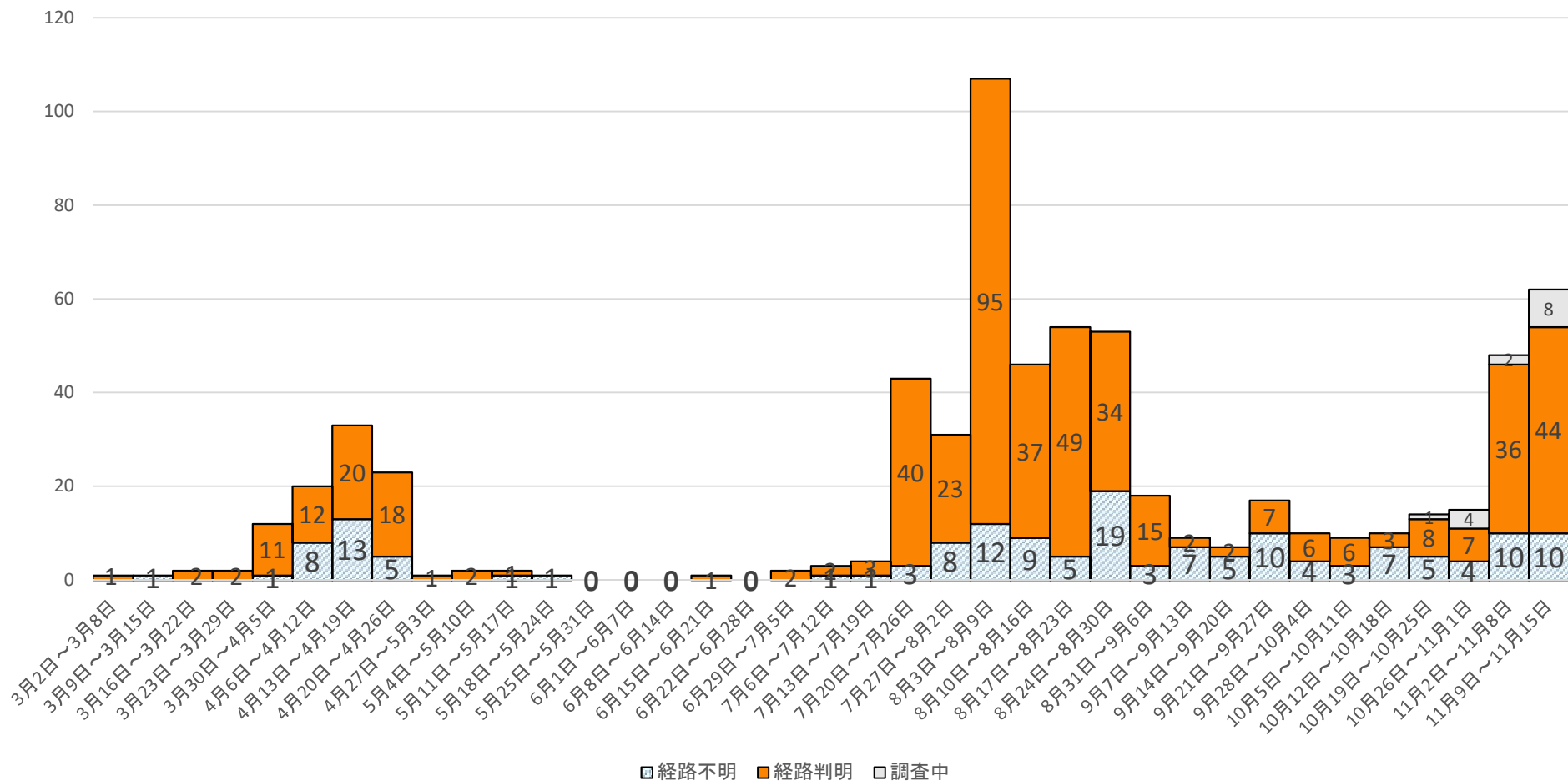
**11月17日 健康医療福祉部医療政策課感染症対策室**



# 県内の感染動向について（11/15現在）

## 1) ①流行曲線（公表日別）

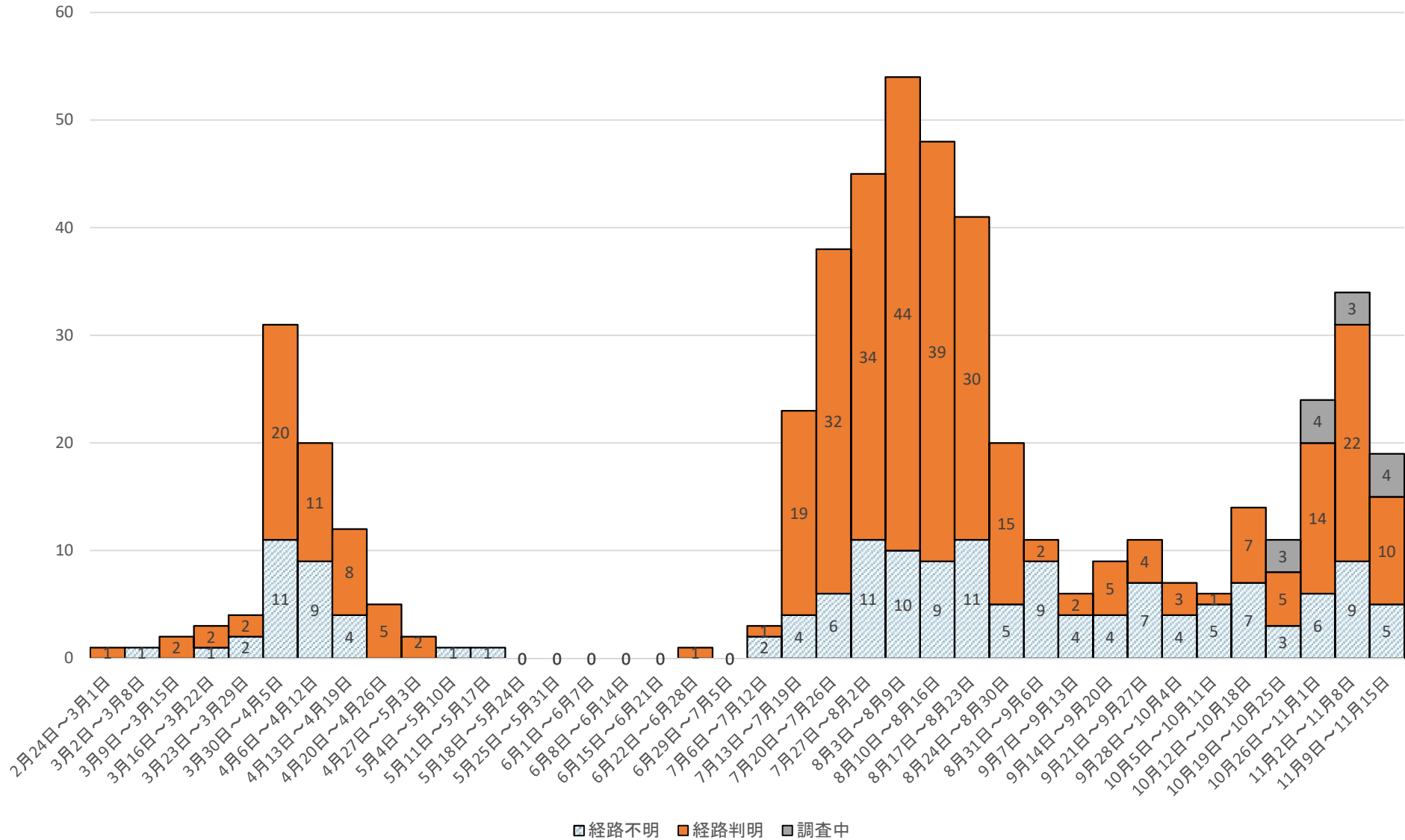
新型コロナウイルス感染症の流行曲線（公表日別）  
11/15 18:00時点（週ベース）



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

# 1) ②流行曲線（発症日別）（11月15日現在）

新型コロナウイルス感染症の流行曲線（発症日別）  
（無症状者は除く）11/15 18:00現在（週ベース）



# 県内の感染状況について（11/9～11/15）

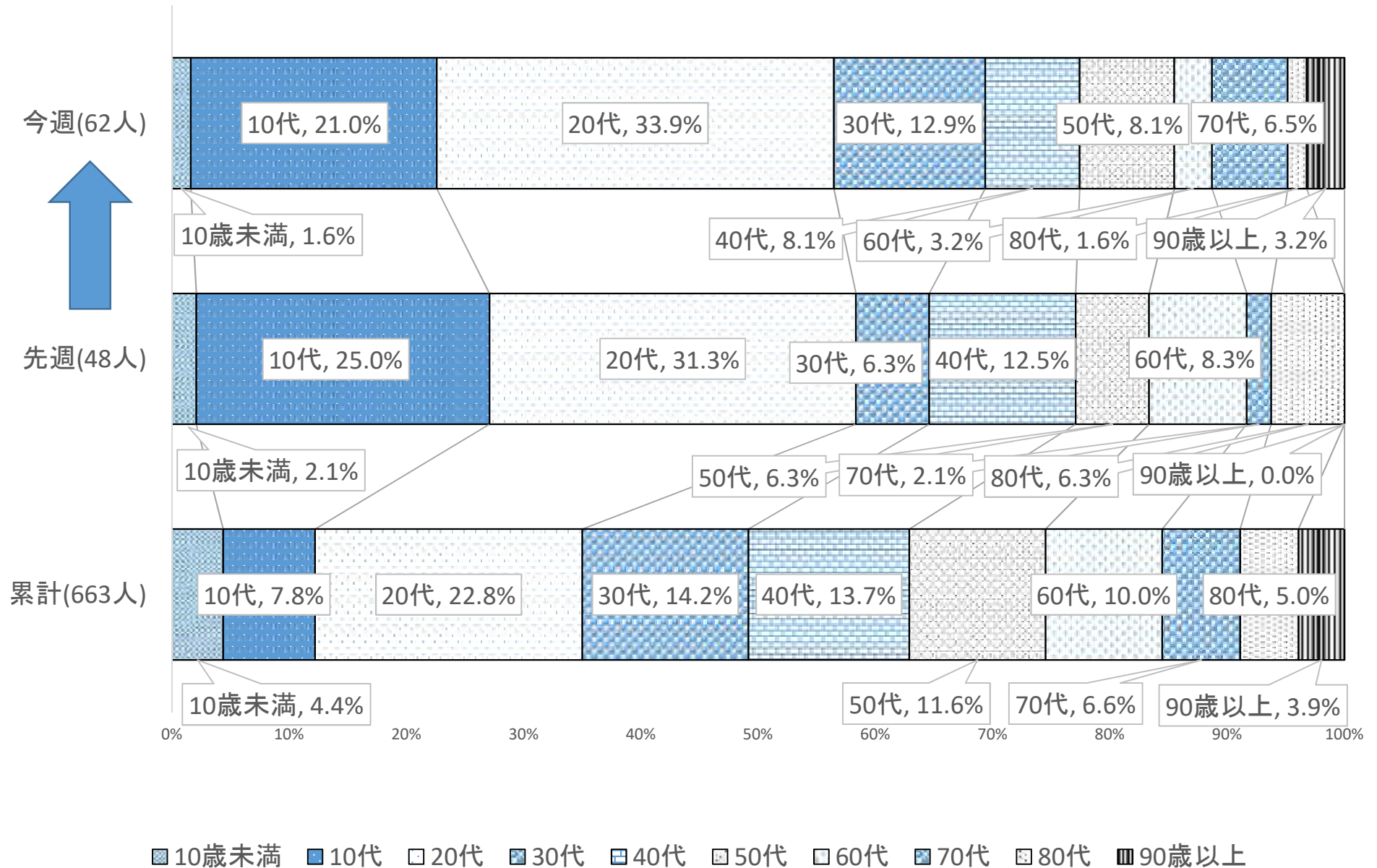
## 1) 県内の陽性者発生状況(11/9～11/15)

	<b>新規感染者数</b>
<b>今週の報告数</b>	<b>62人</b> (11/9～11/15)
<b>直近1週間と先週1週間の比較</b>	<b>多い</b> (11/2～11/8 48人)

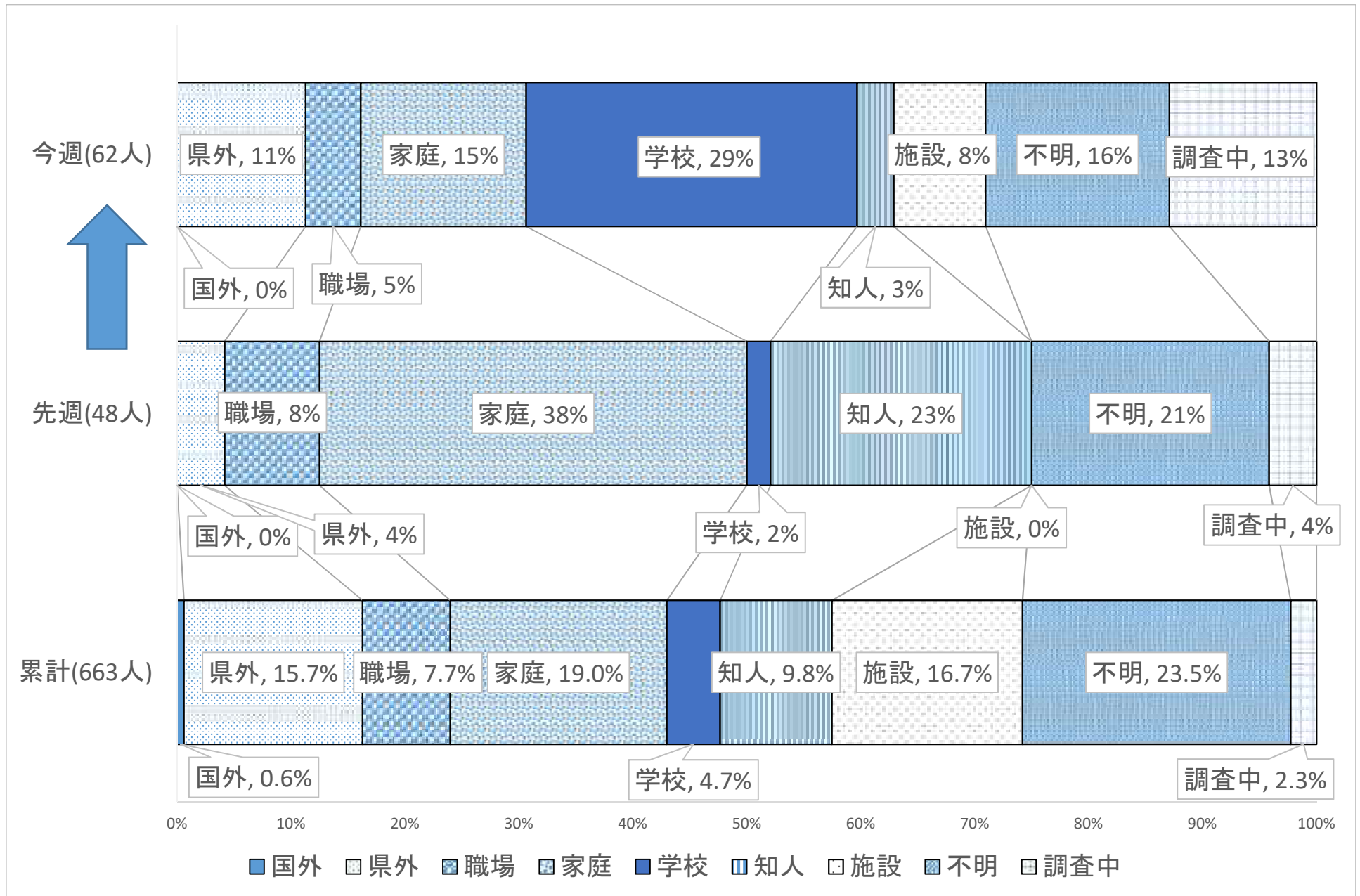
## 2) 市町別の陽性者発生状況(11/9～11/15)

大津市	草津市	守山市	栗東市	野洲市	甲賀市	湖南市	東近江市	近江八幡市	日野町
33	6	4	1	1	2	1	1	2	0
竜王町	彦根市	愛荘町	豊郷町	甲良町	多賀町	米原市	長浜市	高島市	県外等
0	2	0	0	0	0	0	7	0	2

### 3) 先週と今週の年代別陽性者率



## 4) 先週と今週の感染経路別陽性者率



# 県内の感染状況について（11/15現在）

## 1) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数				
		入院者数	空床数		療養者数		空数			
			県内発生	その他			県内発生	その他		
総数	213	50	38	12	163	271	40	38	2	231

## 2) 県内の陽性者発生状況

項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数					入院 予定	宿泊 療養	退院等	死亡
			入院中	重症	中等症	軽症				
PCR検査数 再集計中 (うち行政検査分 —) (うちその他検査分 —)	663	82	38	0	3	35	4	40	572	9
抗原検査数 再集計中										

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

重症者以外のICU(集中治療室)利用者数

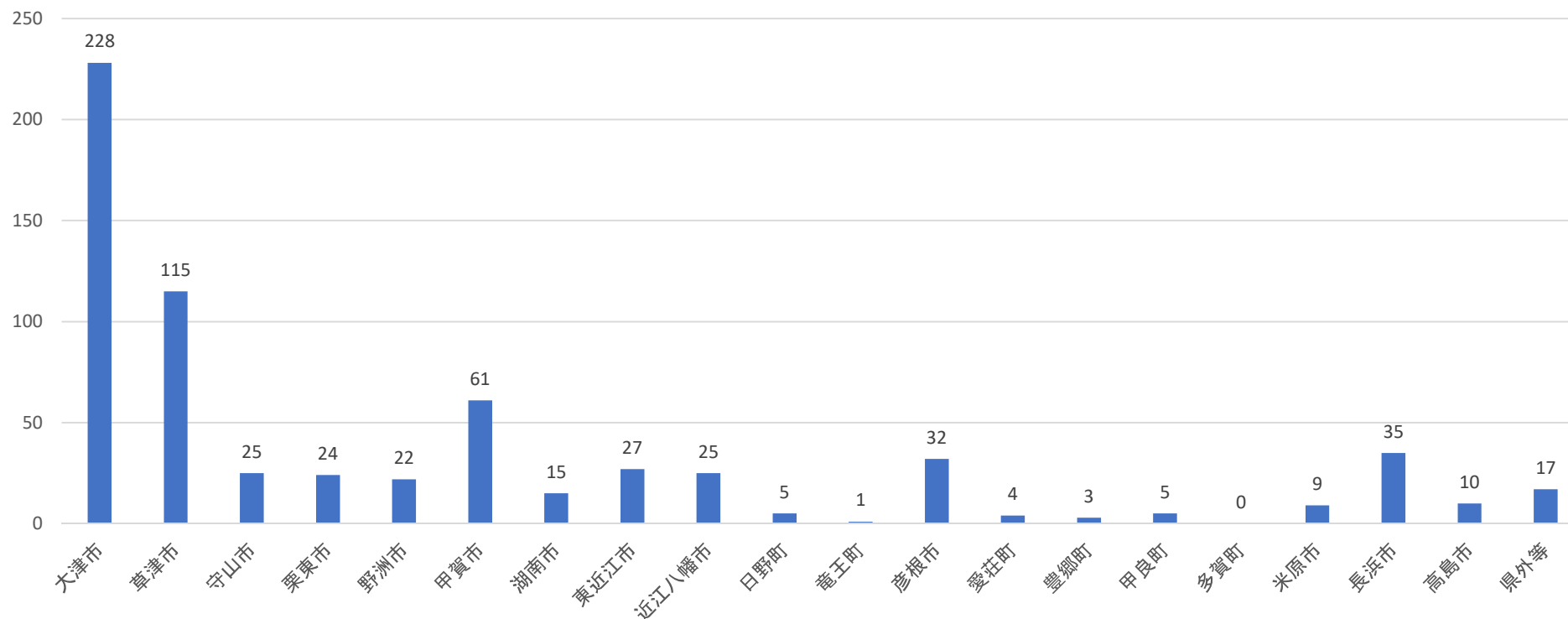
0人



### 3) 性別陽性者数

性別	陽性患者数
男性	328
女性	306
非公表(10歳未満)	29
計	663

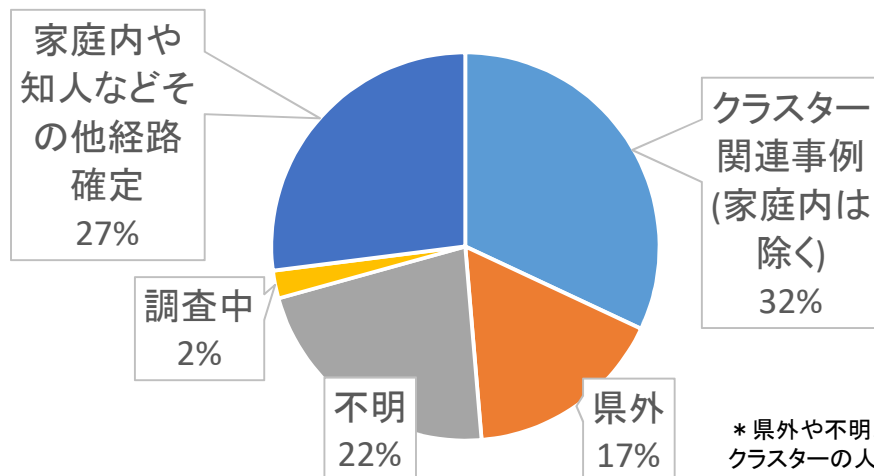
### 4) 市町別陽性者数



## 5) 6月以降に発生したクラスターの状況

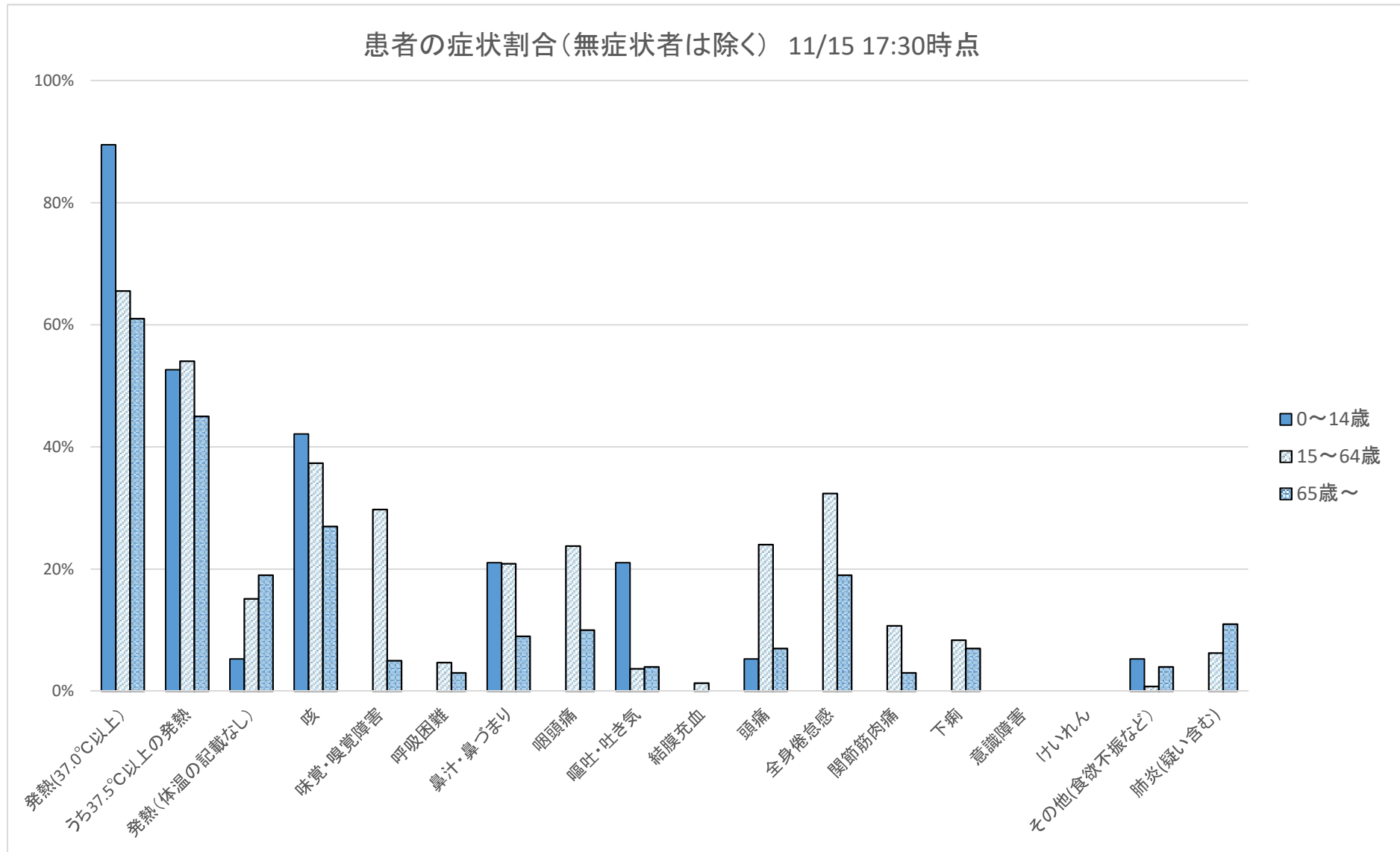
クラスター名	陽性者数	検査件数	初めて感染者が確認された日	関連する感染者が確認された最終日
会食①	11	73	7月20日	7月31日
専門学校	15	117	7月21日	7月24日
飲食店①	12	62	7月27日	8月10日
介護関連事業所①	31	225	8月3日	8月7日
医療機関①	41	256	8月5日	8月19日
介護関連事業所②	15	63	8月19日	8月26日
介護関連事業所③	19	74	8月19日	8月27日
会食②	11	40	11月3日	調査中
学校	19	126	11月7日	調査中
医療機関②	6	調査中	11月14日	調査中

6月以降の感染者(計563件)に占めるクラスター等の割合



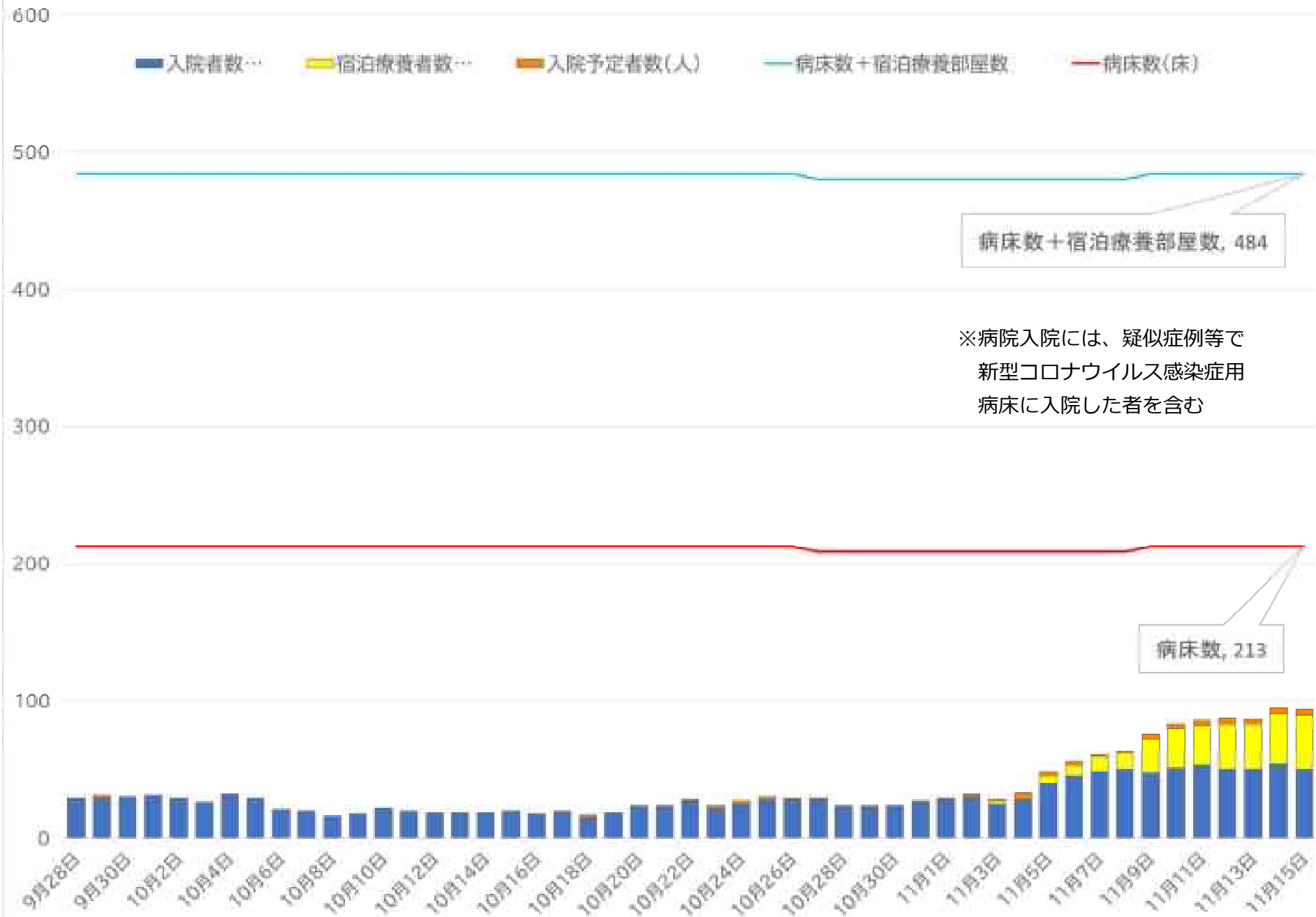
県内では、7月以降複数のクラスターが発生し、クラスター関連の陽性者は合計180名で、6月以降の全陽性数の32%を占めています。先週及び今週には、新たなクラスターの発生が確認されております。

## 6) 届出時の有症状者の症状（年齢群別）



症状の有無は、滋賀県内の発生届や調査票に記載されている情報を集計したものです。

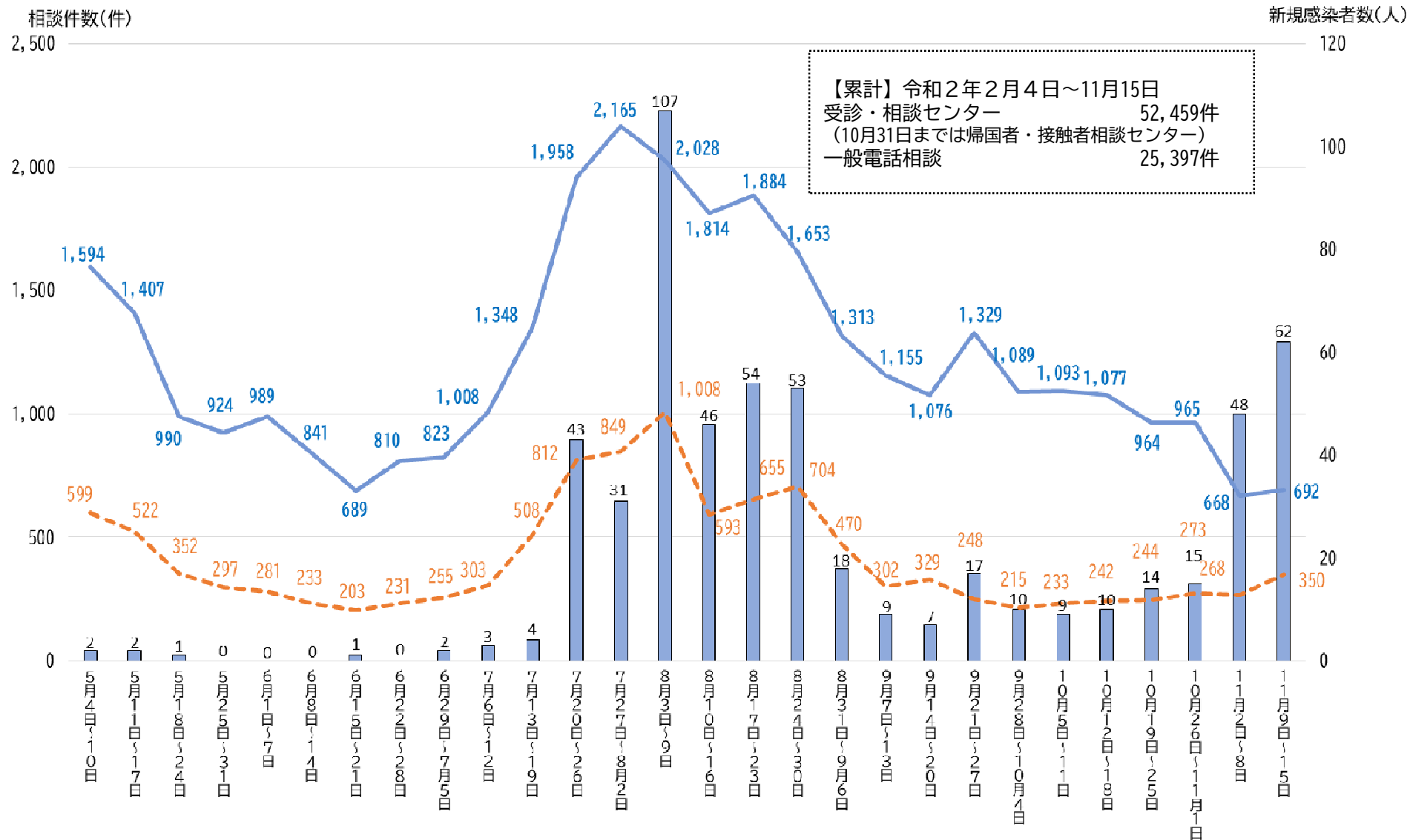
# 入院医療体制について



# 相談体制について

## 相談件数と新規感染者数（週計）

■ 新規感染者数    — 受診・相談センター    - - - 一般電話相談



## 評価（11/9～11/15の感染状況）

- 2週続けて新規感染者数は40人を超過しました。流行曲線（発症日別）の形からは、県内における新たな流行を迎えている可能性を示しています。
- 新規感染者数の増加とともに、クラスター事例を認めるようになりました。
- 特に北海道、愛知県および大阪府を中心として、全国的な感染増加につながっており、可及的速やかに「減少要因」を強める必要があります（第13回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード資料、2020年11月11日）。
- 今後の感染拡大防止のために、下の3つをお願いします。
  - 基本的な感染対策の徹底（手洗い、マスクの着用、3つの密の回避など）
  - 家庭では、咳エチケット、こまめな換気と加湿、定期的な消毒を実践
  - 家族以外の方と接する場面（会食、寮などの共同生活、休憩室等）では、感染リスクが高まる「5つの場面\*」に注意してください。特に、グラスや箸の共用を控え、会食時であっても会話の際にはマスクを着用

\*感染リスクが高まる「5つの場合」：①飲酒を伴う懇親会等、②大人数や長時間におよぶ飲食、③マスクなしでの会話、④狭い空間での共同生活、⑤（仕事での休憩時間に入った時などの）居場所の切り替わり

### 【インフルエンザの発生動向】

- 11月2日～11月8日の発生状況は、全国では24例（昨年同期5,084例）、県内では報告ありませんでした。